

## ご使用上の注意事項

フラッシュ開発ツールキットご使用にあたり、下記の点をご注意お願いいたします。

### 1. ユーザ登録

CD-R に添付されている SupportInfo.j.txt に必要事項をご記入のうえ、ユーザ登録してください。

### 2. 通信タイムアウト発生時の対応

(1)比較的性能の低いパソコン(低速、小容量メモリ)をお使いの場合や、バックグラウンドで別プログラムを実行している場合、以下のケースで、通信タイムアウトが発生することがあります。

- (a) アップロード機能を使用する
- (b) Flash 書き込み後に書き込みベリファイ機能を使用する

この場合は、baud rate の設定を下げてご使用ください。

(2)自動合わせ込み時に“Error No 15068: 応答データ受信タイムアウト”が出力される場合は、baud rate 設定を下げてご使用ください。

### 3. 1200bps baud rateの選択

シリアル通信スピードとして、下記デバイスのみ 1200bps が選択可能(FDM 接続を除く)です。その他のデバイスでは 1200bps を選択しないでください。

(1) H8

38002F, 38004F, 38024F, 38104F, 38124F, 38324F, 38327F, 38344F, 38347F, 38424F, 38427F,  
38444F, 38447F, 38702F, 38704F

### 4. アダプタボード(Flash Development Module)との接続

ターゲットデバイスが USB ブート製品(例: H8S/2215UF)の場合、アダプタボード(Flash Development Module)との接続はできません。

### 5. H8S/2172Fデバイスの周波数設定

H8S/2172F デバイスは、動作周波数が PLL 回路により2通倍されますが、FDT での通倍条件で2通倍を選択することができません。よって、PLL 回路で2通倍された値を動作周波数として FDT の入力周波数条件に設定してください。

### 6. アクセス権のパスワード

アクセス権を有効にした場合、設定したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。

### 7. リードバックベリファイ

静電破壊等によりフラッシュへの書き込みが正常に行われなとき、ベリファイエラーが発生する場合があります。この場合、FDT が異常終了することがあります。

### 8. オートアップデートツール

(2) オートアップデートツールを使用しない場合は、本ソフトのインストール時に“AutoUpdate”のチェックを外してください。

(3) アップデートプログラムをダウンロードする際、ウィザード上に“Destination”情報が表示されます。これは既にインストールされているプログラムのディレクトリ情報です。アップデートするプログラムのインストール先は、インストーラが起動された後に指定することができます。

### 9. R8C/2xデバイス(WS版)のブランクチェック

WS 版のデバイスはブランクチェック機能をサポートしていません。もしこの機能を実行した場合は、常に“Device is not blank”が表示されます。

### 10. M16C/30Pワンタイムフラッシュデバイスでのデバイス保護オプション

“Automatic”または“Interactive”を選択した場合、動作は“None”を選択した場合と同一となります。

### 11. カーネルの追加インストール

本ソフト(V.3.07 Release 04)のインストール後、V.3.07 Release 00 でサポートを開始したカーネルを追加インストールする場合は、本ソフトをアンインストールした後に再度インストールしてください。尚、アンインストールは、CD-R または PC のデスクトップ上にある専用アンインストーラ(Uninstall\_FDT\_306\_307\_v10xxx.exe)を使用してください。

以上